



車いす体験で学ぶ“思いやりの心”

舗装されていないグラウンドでの
走行も体験



周囲を確認しながら
下りのスロープ進みます



子どもたちの学びを支える
ボランティア・民生委員児童委員の力



学校内には、
たくさんの段差があります



車いす体験終了後、児童たちからお礼の言葉と、
元気いっぱいのあいさつで授業が終了。
たくさんの気づきがありました



地域の皆さんの協力で、こうした体験学習が実現しています。
今後、地域とともに、子どもたちの学びを育んでいけるよう、取り組んでいきます。



市社協マスコット
キャラクター
「はつぴくん」

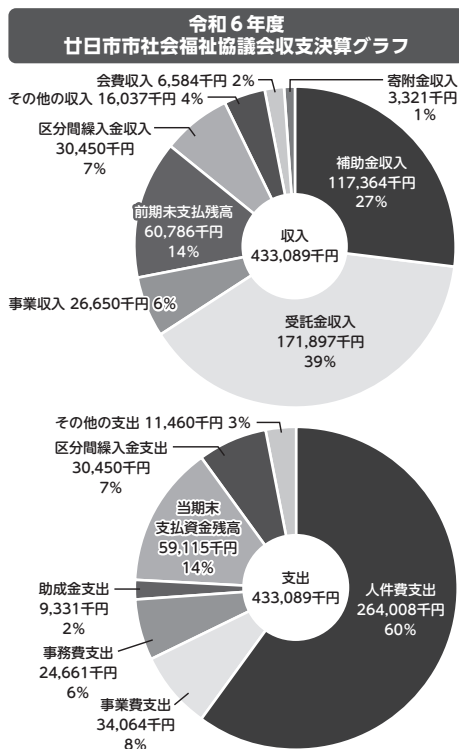
6月4日、宮園小学校の4年生36人が、福祉教育の一環として、車いす体験を行いました。
講師はボランティアグループ飛来行（とらい）の3人に加え、宮園・四季が丘地区民生委員児童委員協議会にもご協力をお願いし、4人の協力を得ることができました。
近年は、ボランティアが減少し、人手が不足する場面もありましたが、地域の民生委員児童委員のご協力のおかげで、円滑に実施することができました。
授業は子どもたちの元気なあいさつで始まった後、車いすに乗ったり押したりして、積極的に体験しました。
普段何気なく行き来している段差や坂道が、車いすではどれだけ大変かを体験したことで、「思いやり」や「支え合い」の大切さを学ぶことができました。
参加した民生委員児童委員からは「子どもたちの貴重な体験になったと思います。私たちにも学びの多い時間でした」と心温まる声をいただきました。

令和6年度は能登半島地震、その後も日向灘を震源とする地震や豪雨災害が続く、災害対応の重要性が再認識される年でした。

また名目賃金は上昇したものの、物価上昇がそれを上回り、実質賃金は3年連続で減少。不安定な家計を抱える世帯が少なくありません。

こうした中、市社協では重層的支援体制整備事業の一環である生活支援体制整備事業や参加支援事業を通じ、地域共生社会の実現に努めました。

新たなひきこもり支援として、はつかいちひきこもり支援ステーション



令和6年度 市社協 事業報告及び決算

「はつステ」を開設し、本人や家族が孤立しないよう身近な相談環境を整備。また、高齢化に伴う成年後見制度の利用ニーズの高まりに対応し、市民後見人養成講座を実施しました。

加えて、災害に備えてボランティアセンター運営の研修も行いました。さらに組織内部では財務事務の効率化、職員採用、研修の充実を図り、持続可能な運営体制の構築に取り組みました。

これらの活動を通じて、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指しました。

吉和地域

吉和地域の7か所の集会所に出向き、地域の人から話を伺う地域懇談会を、令和5年度から開催しています。



懇談会を通して吉和地域の話を知ることができました

大野地域

育児のベテランに聞いてスツキリ！
地域のこころ・サロン支援事業



サロンの開催日など詳細情報は、お気軽に大野事務所へお問合せください

宮島地域

週5でもOK！
離れて暮らす家族も笑顔
あんしんほっとコール

宮島地域では、ひとり暮らしの高齢者が、安心して地域で暮らせるように、見守り活動の一環としてあんしんほっとコールを実施しています。

希望日におはようコールをすることで、安否確認や健康状態の聞き取りを行い、そして孤独感の緩和につなげています。

不安なことがあれば、民生委員や地域包括支援センターなど福祉・医療の関係者と連携して、利用者の「困った」を解決していきます。

このサービスは、平日なら週に1回でも毎日でも、月額2000円で利用できます。今後も、市社協の特性を活かして、皆さんに喜ばれる事業を行なっていきます。



目が不自由な人のために、「あいとぴあ」「広報はつかいち」を音訳、点訳しています。そのほかにも音訳、点訳してお届けしています。詳しくは、市社協へお問合せください。

デイジー図書・点訳本あります

廿日市地域

認知症になっても

「感じる心」は残るんだな

～ 認知サポ at 阿品台西小 ～

5月14日に、阿品台西小学校で認知症サポーター養成講座を行いました。

講師を務めた在宅生活支援センター Rights 廿日市の藤川真美絵さんは、認知症は脳の病気であること、誰でもなり得る病気であることなど、認知症に関する知識を始め、接する時に大切にしていることや気をつけていることを児童に分かりやすく伝えられました。



メモをとりながら、藤川さんの話を真剣な表情で聞く児童たち

「認知症になったら何もう分からなくなるわけではない。嬉しい、嫌だなという感情は残る」「不安だから

何回も聞く。笑顔で安心してもらえるように声掛けをしている」と伝える藤川さんの言葉を、真剣な表情で聞く子どもたちが印象的でした。

最後に、どのようなことなら自分にもできるかを子どもたちに考えてもらったところ「優しく笑顔で対応する」「声を掛けて安心させてあげる」「認知症の人でも楽しい生活ができる場所を作る」など、たくさんの温かい「できること」の話を聞くことができました。

市社協では、小学生向けの認知症サポーター養成講座を行なっています。興味のある人は、お気軽にご相談ください。



キッズサポーターになりました！

キッズサポーターとは…

小学生のころから、認知症への理解、思いやりの心を育て、認知症の人やその家族に「優しい声かけ」などができる子どもたちのことです



佐伯地域

佐伯高等学校の

生徒さん大活躍!!

～ 地域で活躍する佐伯高校生徒たち ～

令和6年度は佐伯高校と連携してさまざまな事業を行いました。

春の恒例行事である横矢公園周辺の花植えでのボランティア活動は、初めて津田保育園の園児と一緒に、交流しました。園児のペースに合わせて植え終わるまでゆっくりと待っている姿が印象的でした。



「ゆっくりで良いよ」と声を掛けながら花植え

佐伯クエスト(探求の授業)では、車いすユーザーや視覚に障がいがある人について探求するグループ、生きづらさを抱えた人が地域の中で一緒に暮らしている道具の開発に興味を持っている生徒たちが、昨年の心と心のハーモニーフェスタで学習の成果を発表しました。



車いす体験のグループは部屋の中に車いすのコースを設営し、段差の昇り降りの方法を、また、視覚障がい者体験コーナーでは、点字ブロックでコースを作成し、視覚に障がいがある人の手引き方法について参加者に伝え、この地域での障がいのある人たちの理解を広げるための普及啓発を行いました。



右上..車いす体験の様子
左上..アイマス体験のコースで優しく手引きしています
右下..自分の特性をTシャツや缶バッジにして展示しました

一方、生きづらさを抱えた人への理解のための「ヘルプマークの代わりになるモノたち」のコーナーでは、自分の特性を知ってもらうための缶バッジやTシャツを考案した生徒が作品を展示しました。当日参加した当事者から「自分にも作ってほしい」という声を聞くことができ、新たな活動のきっかけとなりました。

フードバンク!Amazon「みんなで応援」プログラム

市社協では、アマゾンの「みんなで応援」プログラムを活用し、広く皆さんからの食糧の支援を受け付けています。ぜひご協力ください。【問合せ】 はつかいち生活支援センター TEL20-4080



これからの 権利擁護支援 を考える

令和7年度第1回廿日市市
権利擁護支援地域連携
ネットワーク推進会議開催

6月5日に令和7年度第1回廿日市市権利擁護支援地域連携ネットワーク推進会議を開催しました。

この会議は、廿日市市における権利擁護支援の推進を目的に、毎年3回開催しています。

構成団体には、専門職団体や市民生委員児童委員協議会、金融懇談会、市障がい福祉相談センター（きらいあ）などがあります。また、家庭裁判所や行政、県社協などの関係団体も、オブザーバーとして参加していただいています。



さまざまな立場の皆さんから、広い視点で貴重な意見をいただきました



「地域共生社会」について水中弁護士からの説明の後、意見交換を行いました

今回は12人の委員と6人のオブザーバーに出席を得て、市民後見人候補者に求められる知識や、成年後見利用促進計画の最終年度を迎えるにあたっての振り返りなど、貴重なご意見をいただきました。

今後、いただいたご意見を参考にしながら、成年後見制度利用促進における中核機関として取り組んでいきます。

成年後見制度・親族後見人の専門相談会を開催中!

成年後見制度や親族後見人に関するお悩みに対し、経験豊富な司法書士や社会福祉士が無料でご相談に応じる「専門相談会」を開催しています。

こんなお悩みはありませんか? 「認知症や障がいのある家族のことが心配。でも、親族で後見人になれるか不安…」 「親族後見人になったけれど、手続きや日々の対応で悩んでいる」 「将来に備えて、成年後見制度について詳しく知りたい」 など。相談日については、ページ下にある開催案内をご確認ください。ご相談は予約制です。お気軽にご連絡ください。

申込 廿日市市成年後見利用促進センター

大野地域に/
ひきこもり
相談窓口
開設

10月から
大野事務所で
毎月第4木曜日

「誰に相談していいかわからない」「家族のことで困っている」など、ひきこもりについての個別相談窓口を、10月から毎月第4木曜日に大野事務所で開設します。

ご本人やご家族のひきこもりについての悩みに寄り添い、状況に応じた支援をご提案します。

小さなことでも構いません

大野事務所 相談窓口

日時
10月23日から
毎月第4木曜日
午前10時～午後3時

場所
市社協大野事務所
(廿日市市役所
大野支所3階)

申込
ご予約は「はつステ」へ
お電話またはメールで。
お気軽にご連絡ください。
事前予約優先
(当日受付も可能)

なので、一人で抱え込まずに、まずはお話を聞かせてください。お話を伺いながら、適切な支援機関や関係団体と連携し、状況に合わせたサポートと一緒に考えます。

ご相談は、事前予約優先ですが、当日の受け付けも可能ですので、まずはお気軽に、ご連絡ください。

なお通常のひきこもり相談は、あいプラザ3階の相談まるごとサポートデスク内のはつかいちひきこもり支援ステーション「はつステ」で随時受け付けています。

あいプラザ 相談窓口

受付時間
午前9時～午後5時
(土日祝・年末年始を除く)

場所
山崎本社みんなのあいプラザ 3階
(まるごとサポートデスク内)



3階エレベーターを降りてすぐ

「成年後見制度専門相談会」兼「親族後見人相談会」を開催します(要予約、1人30分、無料)

【日時】 令和7年9月24日(水) 13時～16時 【場所】 山崎本社みんなのあいプラザ 【相談員】 社会福祉士
【申込受付】 令和7年8月1日(金)～ 【申込】 廿日市市成年後見利用促進センター TEL20-5176

のびる愛の手

令和7年4月6日・令和7年6月5日

次の方々から、市社会福祉協議会に温かいご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

本会への寄付金については、所得税・法人税などの寄付金控除が受けられます。寄付金は各地域の事業のために使われます。(金一封の方は金額表示がありません。)

《一般寄付》

氏名	(コメント)	金額等
【廿日市地域】		
田丸 政治様		
(第7回ハン・ジナ&歌好き人の歌謡祭)		
	51,207円	
中村 真和様(餞別のお返しとして)		
匿名		1件
【佐伯地域】		
匿名(社協佐伯事務所さんにお世話になっています)		1件
匿名(佐伯地域の福祉のために)		1件
【吉和地域】		
匿名		1件
【大野地域】		
廿日市市老人福祉施設連絡協議会様		
(地域福祉のために)	38,667円	
匿名(障がい児の手助けのために)	3件	
匿名(地域福祉のために)	30,000円	
匿名(地域福祉の御利用ください)	1件	

《香典返しにかえて》

氏名	(故人名)	金額等
【佐伯地域】		
増田 光子様 増田 正則様		津田
岩田 重則様 岩田 玲子様		友田
匿名		1件
【吉和地域】		
児玉 勝喜様(児玉ヤスエ様)		吉和
【宮島地域】		
佐々木三郎様(佐々木百代様) 中之町表		
見世 淳子様(見世 靖隆様) 大和町		
天野 幸治様(天野 信枝様) 中之町浜		

今年も
やります

廿日市地域の福祉のおまつり

あつまりん祭 in あいプラザ

バザーやボランティア体験など
子どもから大人まで楽しめる
イベント盛りだくさん!

日時 令和7年10月25日(土) 10時~15時

場所 山崎本社みんなのあいプラザ及び新宮中央公園

一緒に楽しい時間を作ってくれる
ボランティア募集中です
「ちょっと手伝ってみようかな」
そんな気持ちでOK!

詳しくはこちらから



はぐくもう、真心をこめて あなたとの未来



本店
東広島市西条栄町 10-35
082-422-9595



<社会福祉法人 廿日市市社会福祉協議会 窓口等一覧>

私たち廿日市市社会福祉協議会は、地域の皆様と一緒に地域福祉の推進に取り組む民間の団体です。

廿日市事務局(総務課・地域福祉課・生活支援課・はつかいちボランティアセンター)

	〒738-8512 新宮一丁目13番1号	TEL(0829)20-0294
佐伯事務所	〒738-0222 津田4109番地	TEL(0829)72-0868
吉和事務所	〒738-0301 吉和1771番地1	TEL(0829)77-2883
大野事務所	〒739-0492 大野一丁目1番1号	TEL(0829)55-3294
宮島事務所	〒739-0506 宮島町960番地2	TEL(0829)44-2785
はつかいち生活支援センター	〒738-8512 新宮一丁目13番1号	TEL(0829)20-4080
廿日市市成年後見利用促進センター	〒738-8512 新宮一丁目13番1号	TEL(0829)20-5176
はつかいちひきこもり支援ステーション「はつステ」	〒738-8512 新宮一丁目13番1号	※TEL(0829)20-5175

(※電話は「相談までサポートデスク」につながります)

業務時間 8:30~17:15 休業日 土曜日、日曜日、祝日、12月29日~1月3日

生協ひろしま

65歳以上または
障害者手帳を
お持ちの方

サポート個配

特典 配送
手数料

半額

※1回当りの通常個配手数料
200円(税別)

※ご本人もしくは同居のご家族が65歳以上の場合、障がい者手帳をお持ちの場合、介護認定を受けられている場合
※免許を返納された方、今後返納を考慮されている方はご相談ください。

コープの宅配 生協ひろしま 組合員サービスセンター

0120-500-935

〒739-0495 広島県廿日市市大野原1-2-10

ひきこもり家族会

ひきこもり個別相談会

【日時】8/9(土) 10時~12時

【日時】9/25(木) ①17時45分~ ②18時45分~(要予約)

【場所】山崎本社みんなのあいプラザ 【問合せ/申込】はつかいちひきこもり支援ステーション「はつステ」 TEL20-5175

誕生！ 認知症サポート企業

廿日市市では、認知症の人やご家族が安心して暮らし続けられるまちづくりを推進するため、認知症のことを正しく理解し、見守りや支える活動に参加する身近なスーパーやコンビニ、薬局や理美容室、飲食店、金融機関など、生活に密着している店や事業所などを

「廿日市市認知症サポート企業等」として登録しています。
 5月には、サポート企業に名乗りを上げた企業3社（ハシモト園芸・エステティックWish・T's CAFE）に対して、認知症サポーター養成講座を開催。



5月19日の講座は、「花と緑の&蘭の殿堂 ハシモト園芸(橋本園芸株)」と「エステティックWish」が受講

認知症の人の思いや、接する際に大切にしてほしいことを伝え、「自分たちができる取組み」について考えていただきました。

5月15日に認知症サポーター養成講座を開催したT's CAFEでは、従業員から「ご年配のお客様と楽しくお話して、困っていることなどを聞くことができる関係性を築きたい」と感想をいただきました。

また5月19日に同講座を開催したハシモト園芸では、受講後、認知症による行方不明者の早期発見を目指す「見守り安心ネットワーク」の協力団体に登録していただきました。

今後も認知症の人にやさしい地域づくりのために企業の皆様のご協力をお願いいたします。



サポート企業にはステッカーが交付されます。詳しくは上記の二次元コードをご覧ください

廿日市市社会福祉協議会有料広告の掲載企業を募集しております

掲載サイズ 縦55ミリ×横60ミリ

広告掲載料		
年間(6回)	カラー	50,000円(市社協会員 40,000円)
	モノクロ	40,000円(市社協会員 30,000円)
1回	カラー	10,000円(市社協会員 8,000円)
	モノクロ	8,000円(市社協会員 6,000円)

掲載条件等、詳しくは市社協 総務課へお問い合わせください。



スポーツ療育

学習支援(不登校支援)

放課後等デイサービス

わくサボジュニア廿日市駅前

〒738-0011 広島県廿日市市駅前 1-3-201
 Tel.0829-30-8696
 受付時間/9:00～18:00(土日祝除く)

福祉のことなら何でもご相談ください！

社会福祉法人 三篠会

ふれあいライフ 原

●介護老人保健施設 ●障害者支援施設
 ●特別養護老人ホーム ●重症児・者 福祉医療施設

職員・ボランティア募集中

ふれあいライフ原 検索 広島県廿日市市原926-1

【宮島スマートI.Cから車で5分程度です。】

tel.0829-38-3333

内覧随時受付中

サービス付き高齢者向け住宅

光風舎 新館

全室個室
デイサービス併設
無料体験有り(食事、マッサージ、送迎)

入居者募集中

廿日市市串戸5丁目11-14 TEL **32-0266**
 JR宮内串戸駅から徒歩5分 (0829)

ともにまなび ともに成長し ともにしあわせに

YOUWANO SATO

社会福祉法人 友和の里

生活支援員、給食調理員 スタッフ募集中！！

- ・生活介護事業
- ・障害者支援施設
- ・短期入所事業
- ・指定特定相談支援事業
- ・共同生活援助事業

廿日市市友田218-38 ☎0829-74-2157

ー 私たちも地域福祉活動を応援していますー